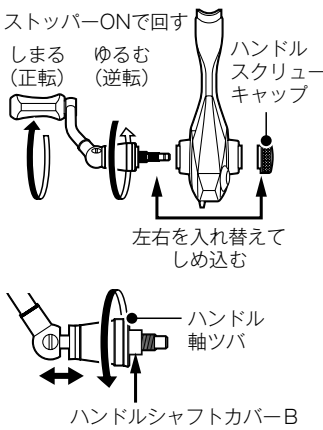


使用方法

●ハンドルの左右付け替え方法

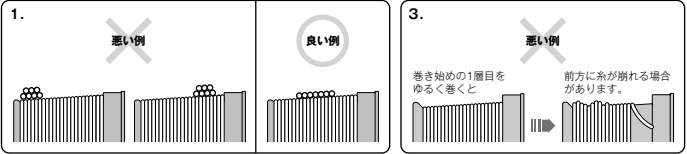
ハンドルは左右共用ネジ込み式になっています。左右を入れ替える時はストップバーをONにしハンドルを数回逆転方向に回転させると、ハンドルがゆるみ、本体より抜けます。ハンドルとハンドルスクリュウキャップを左右入れ替えて、ストップバーONで正転方向に廻して本体にねじ込んでください。

※ハンドル（ダブルハンドルなど軸ツバ固定タイプを除く）をリールに取り付ける際にねじ込みが途中で止まり完全に固定できなくなった場合は、一度リールから取り外し、ハンドル軸ツバ内部にあるハンドルシャフトカバーBを矢印方向に回転させ自由に移動する事を確認したうえで、再度取り付けを行ってください。



●バックラッシュを起こさない為の注意点

1. 本製品はスーパースローオシュレーション、スーパースロー5が搭載されています。（スーパースロー5とはオシュレーションスピードを表し、数字が大きいほどスローになっています。）非常に密に糸を巻き取る為、スプール端部に力糸（太糸部分）を折り返して二重に巻いてしまいますとその部分が極端に膨らみ、そのままキャストしますとバックラッシュを起こす原因になる場合があります。特にスプール上端部はバックラッシュの可能性が高まります。また下端部においても、極端に糸巻き量が多い場合は注意が必要です。この場合は、少し糸を出していただき、再度糸を巻き直し、スプールに力糸が1層で巻かれるように調整してください。
2. 糸を巻き取る際にはテンションを抜かないように巻く事がバックラッシュを軽減させるテクニックです。糸を巻き取る際、最後の1色になったあたりから道糸を指でつまみ、テンションが抜けない様に巻いていただくのがコツです。
3. 新品の糸を巻く時は、巻き始めの1層目（一番底の糸）に特にテンションをかけて糸が崩れないように巻いてください。この部分のテンションがゆるい場合は、スプール前部に糸が崩れて、種々のライントラブルの原因になる場合がございます。

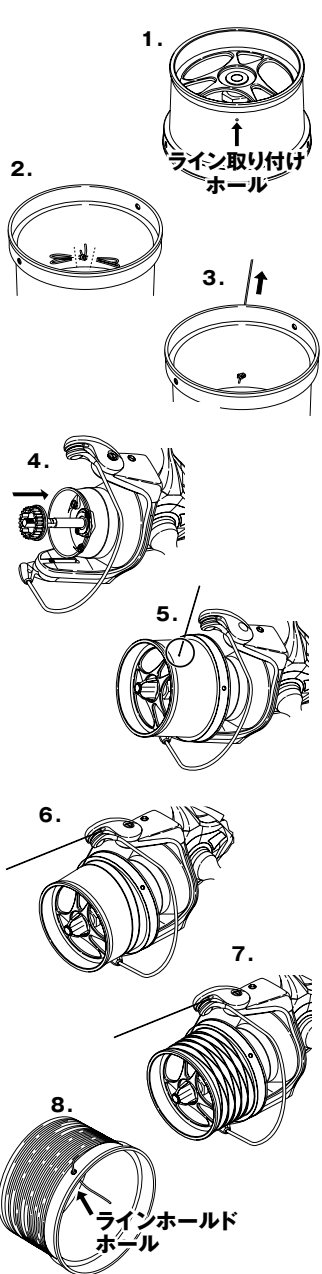


●スプールへのライン取り付け

1. スプール糸巻き部の上端に開けられたライン取り付けホールにラインを通します。
2. ライン先端を4つ折りにし、結びこぶを作ります。他の太めの糸を添えて結びこぶを作ってもOKです。余った糸はカットしておきます。
3. ラインを軽く引っ張ってみて結びこぶが抜けないのを確認します。
4. スプールシャフトが一番後ろにくる状態にハンドルで微調整します。
5. スプールを取り付けます。このときラインが出ている部分を上にしておきます。
6. ラインローラーにラインを掛け、ラインを巻いていきます。極細糸の場合はテンションに注意してください。強く締めすぎると切れるおそれがあります。
7. 最初に1～2往復巻いてみて、ラインがスピールの前端、後端に片寄らないようにワッシャーを調整します。調整方法は次記「糸巻き形状の調整」を参照してください。
8. 巻き終わったらラインのエンド部分は、一番近いラインホールに通しておきます。

※PEラインは染料によって染色されています。新品の糸をタオル等ではさんで巻きますと、この染料が落ち、タオルではさんでいる部分にたまって抵抗になり、糸切れを起こすことがあります。これを防ぐためにはおよそ50mごとにタオルのはさむ位置を変えてください。

※ライン巻き上がりはスプールエッジより若干少な目になります。これはPEラインのトラブルを極力抑えるためのものですがスプールエッジに角Rが付いていますので、ライン放出の抵抗にはなりません。又スプールデザインは実際の物と違う場合があります。



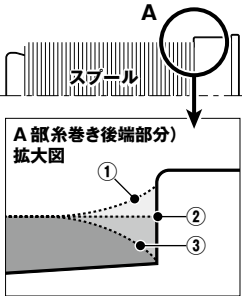
●糸巻き形状の調整方法

糸を巻かれた時に糸巻き部分、特に後端部分に注目してください。その際、下記から当てはまる状態をご確認頂き、①・③の場合は以下の方法で②の状態に調整されることをおすすめします。

- ①：糸巻き後端部分が上がっている状態。
- ②：糸巻き後端部分がまっすぐになっている状態。
- ③：糸巻き後端部分が下がっている状態。

《調整方法》

- ①：糸巻き形状として、悪くはありません。②の良い状態にするにはスプール調整ワッシャーを抜いて調整してください。
- ②：糸巻き形状としては抜群です。
- ③：糸巻き形状として、最悪の状態です。絶対にこのままで使用しないでください。ライントラブルが発生します。②の良い状態にするには、スプール調整ワッシャーを入れて調整してください。



●ライン号数シールの使用方法

付属のライン号数シールをスプールに貼ってお使いください。（※貼る前にスピールの汚れ、水分、油分を拭き取ってください。）

●スプールプロテクターの使用方法

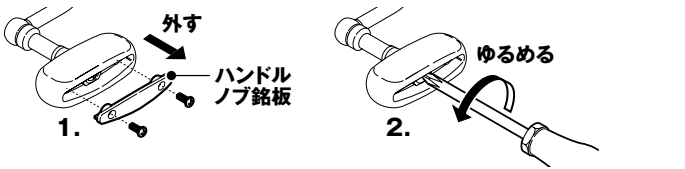
スプールリングを保護し運搬中にテーパーラインがほぐれるのを防ぐスプールプロテクターが付属しています。図のようにスプールプロテクターをスプールに強く巻きつけて止めてください。

抜け落ちないように確実に巻きつけてください。



●ハンドルノブの取り外し方

1. ネジ2本を緩めて、ハンドルノブ銘板を外します。
2. ノブ内部のネジをゆるめて外します。



夢屋・WEB CASTING

この度はスーパーエアロシリーズをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。シマノでは投釣りファンや遠投マニアの皆様を様々な側面から支援しています。

●SHIMANO JAPAN CUP 投

釣り技術やマナー向上を目指し、また、キャスター相互の親睦を深める目的で、キス釣りトーナメントの最高峰SHIMANO JAPAN CUP投を開催しています。

●夢屋

チューニングパーツブランド夢屋から発売しておりますスーパーエアロシリーズでは、お手持ちのリールを、軽量化・飛距離の向上・トラブルの減少・操作感の向上、といった各種ファクターを高めるために、妥協のない性能を追い求めています。

●WEB CASTING

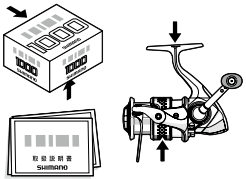
シマノホームページに、「遠投」に特化したコンテンツ WEB CASTING を設けています。遠投の基本・トップキャスターのキャスティング分析・遠投競技のすべて等、基礎知識からトップテクニックまでを順次解説していきます。

シマノ投げ 検索

是非とも御参考にしていただきたく思います。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

- 弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては「仕様」に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は「仕様」をご覧いただき、製品名と製品コードをお知らせください。（例／製品名:ステラ1000S 製品コード:SD83B012）
- リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。
- 修理に出されるときには、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に（例／ストップバーが動かない）お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所へお問い合わせください。修理品は部品代のほか工賃をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
- ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧ください。製品名・商品コードもしくは製品コード・部品番号・部品名をご指定の上、お買い上げの販売店にご注文ください。内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。（例／製品名:ステラ 1000S 商品コード:02425 製品コード:SD83B012 部品番号:2 部品名:スプール）
- 弊社ではリール、釣竿の補修用性能部品の保有期間を、製造中止後6年間としています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。修理対応期間を過ぎた場合は修理をお断りすることがございます。性能部品以外は製造中止後6年以内でも供給できない可能性がございます。
- 商品コード/製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部もしくは側面部に製品コードの上5ケタ及び商品コードを表示しています。又、製品には商品コードを表示しています。



リールのお取り扱いの注意

リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

《ご使用上の注意》

- リールを使用する竿に取り付けてみて不具合がないか、まず確認してください。
- 根掛かりした時には、竿やリールで無理におおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
- リールは丁寧に扱ってください。移動時、特に磯渡しなどの時の放り投げやバッグ内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
- 砂浜、磯の上で竿を立てるとき、石突きを強く打ち込むとショックでリールの脚部が折れることがありますので、必ずゆっくりと竿を立ててください。
- 砂や水などの浸入を大幅に減少させるシール部品を随所に採用していますが、防水構造ではありません。
- 水中でのご使用、およびお手入れには対応していませんので、水没させないようにご注意ください。（万が一リールが水没し内部に浸水した場合、「メンテナンスの方法」の項を参照）また、むやみに分解されますと、シール部品が破損したり、その性能を損なう可能性がありますので充分ご注意ください。

メンテナンスの方法（オイルインジェクションで簡単・安心）

S A-RB (Shielded Anti-Rust Bearing) の採用で、通常使用後は1.2.の水洗いと乾燥だけで十分です。およそ5回の使用に1回、また次のご使用までに1ヶ月以上の期間があく場合は、3.の注油を併用するとより効果的です。オイルインジェクションの採用で、リール内部へのオイル補給も容易です。リールを水没させてしまった場合は、1.から3.までのメンテナンスで応急処置はできますが、できるだけ早くお買い上げの販売店に預けいただき、当社のアフターサービスを受けることをおすすめします。

1. 水洗い…シャワー等の真水で水洗いしてください。リールに付着した塩分、汚れを洗い流します。〈図A〉※温水はグリスを洗い流す可能性があるのでお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。※竿にセットした状態で水洗いされましても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流せないことがしばしばあります。
2. 乾燥…しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。〈図B〉※直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。※水を切り、乾燥させる際にオイルインジェクションのキャップを外しておくとも効果的です。※外したキャップは無くさないよう注意してください。〈図C〉
3. グリス、オイル噴霧…オイル噴霧箇所は〈図D〉を参照していただき、間違えないように噴霧してください。グリス、オイルはシマノ純正品（別売・下記）をお使いください。

*単品でご購入される場合

シマノ純正リールオイルスプレー(SP-013A)
シマノ純正リールグリススプレー(SP-023A)

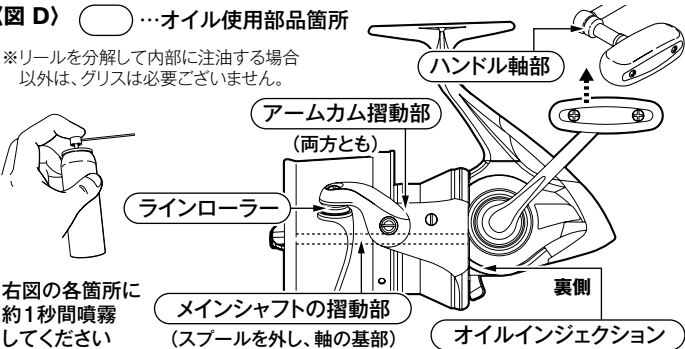
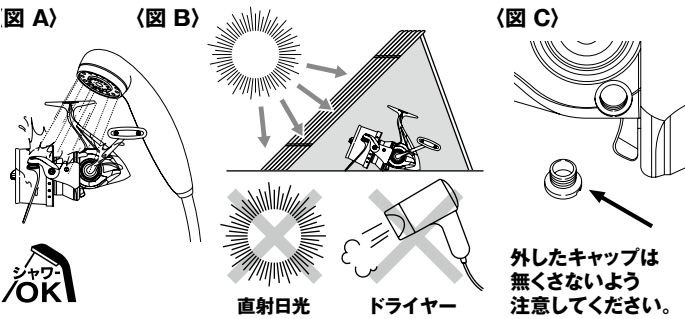
*リールオイルスプレーとリールグリススプレーの2本セット

シマノ純正リールメンテナンススプレー(SP-003H)

※いずれも販売店にてご注文ください。
※注油の際は、オイル、グリスが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。
※リールを分解して内部に注油する場合以外は、グリスは必要ございません。

●お願い

グリス、オイル類はシマノ純正品（別売）をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。



●オイルインジェクションへの噴霧は…

マイナスドライバでキャップを外しオイルスプレーを注入してください。（右図）1回の注入は約1秒までの噴射が適当です。
※注入しすぎるとあふれたオイルで衣服等を汚すおそれがあります。
※オイルスプレーの注入が終わりましたらオイルインジェクションのキャップは必ず装着してください。
※リール本体にオイル、グリスが付着したままですと、キャスティング時にすべるおそれがあります。必ず拭き取ってください。

